

ルネガティブ②)術前化学療法(NAC)中にProgressive disease(PD)となった22症例の臨床的特徴と経過について.第23回日本乳癌学会学術総会,東京,7月.

- 19) 石垣貴之, 都島由希子, 神尾麻紀子, 三宅 亮, 加藤久美子, 野木裕子, 塩谷尚志, 田部井功, 鳥海弥寿雄, 木下智樹, 武山 浩. (一般演題(口演):腫瘍性疾患の診断)濾胞性腫瘍の手術適応の検討.第48回日本甲状腺外科学会学術集会.東京,10月.
- 20) 佐藤修二, 内海 功, 成岡健人, 谷島雄一郎, 藤岡秀一, 平井泉美, 関久美子, 柏崎賢一. 当院における効率的な手術室運用を目指した取り組み.第117回成医会第三支部例会.狛江,7月.

#### IV. 著 書

- 1) 尾高 真, 森川利昭. 全国主要呼吸器診療施設一覧. 杉山幸比古, 近藤 丘, 中西洋一, 奥村明之進編集主幹. 先端医療シリーズ46:呼吸器疾患診療の最先端. 東京:寺田国際事務所/先端医療技術研究所,2015. p.311-2.

#### V. その他

- 1) 森川利昭.【シリーズ 新潮流 Vol.4--The Next Step of Imaging Technology 3Dプリンタの医療応用最前線 利活用法から作製法まで】Clinical Application 目的別3Dプリンタの利活用法 胸部領域 呼吸器. INNERVISION 2015; 30(7):50-1.

## 小児外科, 血管外科

教 授:大木 隆生	血管外科
准教授:石田 厚	血管外科
准教授:金岡 祐司	血管外科
講 師:戸谷 直樹	血管外科
講 師:吉澤 穰治	小児外科
講 師:芦塚 修一	小児外科

### 教育・研究概要

#### I. 小児外科

##### 1. 教育

4年生を対象としたコアカリキュラム中で小児外科の系統講義は2時間である。小児外科疾患数が多く、2時間の講義では疾患の概要を解説するのみになるが、豊富なスライドと国家試験でも活用できるプリントを用いて効率のよい学習ができるように計画した。不足分を補うために5年生ではsmall group teachingと手術に直接参加する機会を多くすることによって小児外科疾患の知識の固定化を図っている。6年生の選択実習においては、University of California San Franciscoにおいて1か月の基礎医学実習ができるようにしている。研修医に対しては、小児の採血・点滴路の確保・皮膚縫合などの手技をはじめ、短期入院患児の術前・術後管理や消化管造影検査・尿路造影検査などの介助に参加させることで小児外科診療の特徴を感じてもらっている。外科レジデントには、臍ヘルニア・鼠径ヘルニア・虫垂炎手術・開腹噴門形成術・中心静脈路の確保などの術者・助手をすることによって、外科専門医修得のためにたる手術経験数の確保と手術手技の基本教育をおこなっている。小児外科専門医を目指す若手医師に対しては、専門医資格修得条件を満たすに足る症例を十分に経験できるようにしている。さらに指導医を目指す医師に対しては難易度の高い手術の術者経験を重ねられるよう配慮している。また、小児内視鏡外科手術手技の修得のため、若手医師には講習会への参加できるように配慮している。

##### 2. 臨床研究

- 1) 乳幼児の便秘症患児の直腸内圧検査・直腸肛門反射に関する研究
- 2) 埋没陰茎に対するテストステロン投与と陰茎形成術との併用療法に関する研究
- 3) 重度膀胱尿管逆流症に対する膀胱鏡下De-flux注入療法の適応拡大に関する研究
- 4) 中心静脈カテーテルに関する研究:細径イン

トロデューサーの開発

5) 重度心身障害児に対する腹腔鏡下噴門形成術に関する研究

6) 漏斗胸に対する Nuss 手術：複数本のペクタスパー挿入法の適応と臨床効果に関する研究

7) 小児救急ガイドの作製

こどもが急な発熱やけがで病院を受診した方かよいのか、様子をみていてよいものなのかを保護者が迷った時に、受診の緊急度を判定できるアプリケーション「小児救急ガイド」を NTT ドコモと共同開発した。

### 3. 基礎研究

1) 悪性腫瘍に対する分子標的療法：血管新生に関与する抑制因子を発現する遺伝子を多種類導入することによって、腫瘍の増殖・転移抑制効果に関する研究

2) 運動負荷が小児消化管吻合部に与える影響に関する基礎的研究

運動時には、運動強度依存的に骨格筋への血流量が増加する一方で、消化管への血流量は減少する。この際の血流量減少は消化管へのダメージを与え、創傷治癒の遅延や消化管免疫の低下、消化管出血などの問題を来たし得る。消化管術後の創傷治癒の遅延は、術後の縫合不全の誘発や食事の開始時期への影響が大きく、重要な問題である。特に小児における科学的根拠に基づいた適度な運動制限レベルは、解明されていない。そこで、幼若ラットを用いて、消化管術後の運動が消化管切除・吻合後の創傷治癒に与える影響について検討している。

3) 神経芽腫のバイオマーカーとしてのエクソソーム含有 microRNA の有用性

細胞から分泌される膜小胞である「エクソソーム」が新たな細胞間コミュニケーション方法として注目されている。最近、このエクソソームによる疾患発生メカニズムや悪性化機構が解明されつつある。そこで神経芽腫における血液のエクソソーム中 miRNA の測定が神経芽腫の新たな診断法として有用であるかをマウスを用いて検討している。

## II. 血管外科

1. 胸腹部大動脈瘤に対する枝付きステントグラフトの臨床応用

胸腹部大動脈は破裂してしまうと極めて救命が困難であり、また待機手術においても未だ高い死亡率と対麻痺をはじめとした重篤な手術合併症を引き起こす治療が難しい疾患である。われわれは、開胸開腹手術が困難な症例に対しては、学内倫理委員会、

医療安全委員会による審査が行われ、個人輸入ベースで医療器具（枝付きステントグラフト t-Branch）を入手し、血管内手術を行っている。単径部や上腕動脈の小切開のみで腹腔動脈・上腸間膜動脈・腎動脈に送血用の枝をつけてから胸腹部大動脈瘤を空置する治療を行い得るため、局所麻酔下でも手術可能な枝付きステントグラフト手術を行い良好な成績を収めている。

2. 弓部大動脈瘤に対する新しい低侵襲手術の開発（Retrograde in situ branch surgery : RIBS, 枝付きステントグラフト Branched Thoracic Arch Graft (A-branch)）

胸部大動脈瘤の内、頸部動脈分枝を巻き込んだ形で瘤が存在する弓部大動脈瘤に対し、新しい手術方法を検討する。従来、この疾患に対しては弓部大動脈人工血管置換術が行われてきたが、既に胸骨正中切開により上行大動脈人工血管置換、心臓手術が行われている症例や、心機能・呼吸機能が著明に低下した症例においては、弓部大動脈瘤に対する人工血管置換術は困難である場合が少なくない。そのため、より低侵襲な術式として、1) 必要に応じて頸動脈間バイパス術を行い、2) ステントグラフトを上行大動脈から下行大動脈に留置し、3) 頸動脈から逆行性に弓部大動脈に挿入したステントグラフト内に針で穴を開け、4) カバードステントをステントグラフト内に留置することで脳循環をわずかな虚血時間のみで血行再建することができる術式 RIBS を開発した。in vitro 下の基礎実験を繰り返した後に、学内倫理委員会、医療安全委員会による審査が行われ、臨床応用の承諾を得て、弓部大動脈人工血管置換術が困難と判断された弓部大動脈瘤患者に対して、本術式 RIBS による低侵襲手術を行っている。また、同様の審査を経て、欧州で使用されている企業製弓部大動脈瘤に対する A-branch によるステントグラフト治療を開始している。

3. 薬剤溶出ステントの基礎的研究と臨床応用

浅大腿動脈の狭窄・閉塞病変（SFA 病変）に対するステント治療は、未だ再狭窄率が高く問題点も多い。われわれは、SFA 病変に対して内膜肥厚の抑制を目的とした薬剤溶出ステントの開発と基礎的研究、さらに日米独同時国際臨床治験も行った。臨床治験の結果は満足できるものであり、我々の努力結果もあり、2012 年より保険収載され日本で使用可能となった。

4. ステントグラフト術における下肢虚血再灌流障害予防に関する研究

大動脈ステントグラフト治療を行う際に大腿動脈

へ留置するシースは大口径であることが多く、この大口径のシースを長く留置することによる末梢動脈への血流障害で下肢虚血を引き起こす。下肢虚血が長時間に及ぶとシースを抜去した際に下肢虚血再灌流障害が起こり、下肢コンパートメント症候群、そして時に死に至る合併症を引き起こす。そのため我々は動脈に大口径シースを長時間留置し下肢虚血を引き起こす可能性がある手術の場合には、大口径シースを留置した動脈の末梢側に小口径のシースを留置し、シースのコネクターを連結することで、大口径シースの中核から末梢の動脈へ血流を供給するシステムによる下肢虚血の予防効果を研究している。

#### 5. 血管内治療用シミュレーターを用いたトレーニングシステムの導入

血管内治療は特有の技能を必要とする分野であり、ある一定の learning curve が存在する。われわれは血管内治療用のシミュレーターを導入したトレーニングシステムを構築している。これは、パイロットのフライトシミュレーターの様に、実際に極めて近い画面を見ながら実物のワイヤやカテーテルを使ってトレーニングを行えるようになっている。頸動脈・腎動脈・腸骨動脈・下肢動脈などの各種血管に対する血管内治療がプログラミングされており、さらに難易度も選択できる。このシミュレーターでステップを踏むことで、臨床へのスムーズな移行が可能となる。

#### 6. ヘパリン血小板第4因子 (PF4) 複合体抗体の臨床研究

ヘパリンは抗凝固剤として血管外科手術において一般的に使用されている。ヘパリンの使用により血小板減少 (HIT) が誘発され、重篤な血栓症を発症することがあることが知られている。ヘパリンの使用量が少量であっても、ヘパリン-PF4 複合体に対する特異的な抗体が産生され、HIT を惹起することがある。ヘパリン投与による抗体の産生はこれまで過小評価されていると思われる。我々は、約 300 例以上の血管外科手術患者において、ヘパリン-PF4 複合体抗体と PF4 活性を測定し、発生頻度、相関性について調査した。ヘパリン-PF4 複合体抗体陽性率は約 13% であった。また、PF4 抗体陽性者の PF4 活性は、陰性者より有意に高値であった。今後、統計学的解析を加え、報告する予定である。

### 「点検・評価」

#### 1. 小児外科

小児外科手術の多くは本院においておこなわれて

いるため 5 年生で外科のポリクリを分院でおこなっている学生は、小児外科疾患の学習の機会が得られない状況が続いている。依然として、看護学科においては、小児外科教育が行われていないことは今後、改善の必要があると考える。その他は、計画通りの教育をおこなうことができたと考える。

研究の成果は、日本小児外科学会・日本内視鏡外科学会などにおいて発表した。

#### 2. 血管外科

現在、以下の臨床や基礎研究が進行中である。腹部および胸部大動脈瘤ステントグラフト手術においては日本屈指の治療件数を誇っている。また、米国から最先端の血管内治療用医療器具を輸入使用し、open surgery が困難な患者の弓部大動脈瘤や胸腹部大動脈瘤の治療を行っている。これらの臨床データを解析し、その成績・治療法を主要学会で報告している。

- 1) 弓部大動脈瘤に対する分枝付きステントグラフトの開発・臨床応用
- 2) 弓部大動脈瘤に対する hybrid surgery の開発
- 3) 弓部大動脈瘤に対する新しい低侵襲手術の開発 (RIBS, A-branch)
- 4) 胸部大動脈瘤患者において鎖骨下動脈・椎骨動脈の側副血行に関する研究
- 5) 3 次元画像ワークステーションを用いた胸腹部大動脈瘤に対する枝付きステントグラフトの研究
- 6) 腹部大動脈ステントグラフト Zenith と Excluder のどちらが優れているかを検討する研究
- 7) 経皮的治療を可能にする Low Profile ステントグラフトの開発
- 8) 大動脈瘤、心不全用 wireless 圧センサーの応用に関する研究
- 9) Wireless 圧センサーを用いた大動脈瘤ステントグラフト治療の治療効果に関する研究
- 10) 3 次元画像ワークステーションを用いた大動脈瘤の経時変化、治療効果の研究
- 11) 大動脈ステントグラフト内挿術に際して大腿動脈を露出する際の外科的方法対経皮的方法の是非に関する研究
- 12) ステントグラフト術における下肢虚血再灌流障害予防に関する研究
- 13) 内腸骨動脈コイル塞栓術後の殿筋性跛行の予後決定因子を解明する研究
- 14) 未治療の胸部大動脈潰瘍性病変の予後に関する研究

る研究

- 15) 腹部大動脈瘤の診断契機に関する研究
- 16) 頸動脈プラークの安定化に及ぼすスタチンの研究
- 17) より低侵襲な頸動脈内膜剥離術の開発
- 18) Simulator を用いた頸動脈ステント術の術後知的レベル改善に関する研究
- 19) 閉塞性動脈硬化症の新しい血管内治療法の研究
- 20) 閉塞性動脈硬化症に対する Drug Delivery System の開発
- 21) 閉塞性動脈硬化症に対する薬剤溶出ステントを用いた再狭窄予防効果に関する研究
- 22) 重症虚血肢に対する遺伝子導入細胞および幹細胞を利用した血管新生に関する研究
- 23) bFGF (basic fibroblast growth factor) 含有生体接着剤の血管吻合部治癒促進効果に関する研究
- 24) 浅大腿動脈プラークに対する各種薬物治療効果の研究
- 25) レーザー血流量計を用いた血行再建と肢切断レベルの決定に関する研究
- 26) MDCT を用いた下肢バイパス用大伏在静脈の質的評価に関する検討
- 27) 腎動脈狭窄に対するステント術の治療効果に関する研究
- 28) 腎動脈狭窄症の治療適応を改善する研究
- 29) 内臓動脈瘤に対するカテーテル治療戦略に関する研究
- 30) 下肢静脈瘤に対する血管内治療に関する研究および臨床応用
- 31) 3次元カラードプラーを用いた血管病変の診断、術式に関する研究
- 32) 血管内超音波 (IVUS) を用いた血管内プラークの予後に関する研究
- 33) 3次元画像ナビゲーションシステムを用いた血管内治療の開発
- 34) 血管内治療用シミュレーターによる医師トレーニングの有用性
- 35) 本邦における血管病変の特殊性に関する研究

## 研究業績

### I. 原著論文

- 1) 田中圭一朗, 吉澤穰治, 秋葉直志. 【エンジョイ！】症例報告：手術・治療の工夫 (II)】小児の正中頸嚢胞に対する OK-432 (ビシバニール) による硬化療法. 小児外科 2015; 47(12): 1229-31.

- 2) 黒部 仁<sup>1)</sup>, 大塚正彦<sup>1)</sup> (1 川口市立医療センター). 幼児陰嚢内脂肪腫の 1 例. 日小泌尿会誌 2015; 24(1): 40-4.
- 3) 金岡祐司. 【血管エコー診断に必要な血行再建術の知識】腹部大動脈瘤の治療. 心エコー 2015; 16: 1070-8.
- 4) 金岡祐司, 大木隆生. 【大動脈ステントグラフト】ハイブリッド治療か, 分枝・閉塞ステントグラフト治療か. 心臓 2015; 47(6): 672-8.
- 5) 瀧澤玲央, 金岡祐司, 大木隆生. Juxtarenal AAA に対するステントグラフト. 腎臓内科・泌尿器科 2015; 1(4): 406-14.
- 6) 馬場 健, 金岡祐司, 大木隆生. 人工臓器 最近の進歩 人工血管の現状と最近の進歩. 人工臓器 2015; 44(3): 146-51.
- 7) 手塚雅博, 金岡祐司, 大木隆生. 【下肢静脈疾患治療における地殻変動】レーザー焼灼術. 日外会誌 2015; 116(3): 155-60.
- 8) 手塚雅博, 金岡祐司, 大木隆生. 【type II エンドリーク】EVAR 術後 Type II エンドリークに対する術前・後の対処法. 血管外科 2015; 34(1): 33-9.
- 9) 伊藤栄作<sup>1)</sup>, 中林幸夫<sup>1)</sup>, 原 圭吾<sup>1)</sup> (1 川口市医療センター). 高齢女性の初発鼠径ヘルニアには大腿輪被覆が必要である. 日ヘルニア会誌 2015; 2(1): 2-5.
- 10) 平松友雅, 芦塚修一, 吉澤穰治. 【エンジョイ！】症例報告：手術・治療の工夫 (I)】噴門形成術後再発例に対する ePTFE シートをプレジエクトに用いた食道裂孔縫縮術. 小児外科 2015; 47(1): 28-32.

### II. 総 説

- 1) 金森大輔, 吉澤穰治. 【消化器疾患の治療とケア】十二指腸潰瘍. こどもケア 2015; 10(5): 16-9.
- 2) 内田豪気, 吉澤穰治. 【知っておきたい脾臓の話題】脾臓の外科解剖. 小児外科 2015; 47(3): 231-4.
- 3) 大木隆生. 【下肢静脈疾患治療における地殻変動】下肢静脈瘤治療の地殻変動が外科医リクルートと育成に及ぼす影響と対策. 日外会誌 2015; 116(3): 171-4.
- 4) 金岡祐司, 大木隆生. 【大動脈疾患へのステントグラフト治療はどこまで進歩したか】Complex case への対応 TAA Arch TAA に対する Chimney technique. Coronary Intervent 2015; 11(3): 67-73.
- 5) 原 正幸, 金岡祐司, 大木隆生. I. 虚血性心疾患 1 C. 大動脈疾患 28. 血管内治療を選択すべき胸部大動脈瘤, 胸腹部大動脈瘤はどのようなものか? 小室一成 (東京大) 監修. EBM 循環器疾患の治療 2015-2016. 東京: 中外医学社, 2015. p.140-4.
- 6) 孟 真 (横浜南共済病院), 石田 厚, 尾原秀明, 渋谷慎太郎. 最適な末梢動脈疾患 (PAD) の治療を考える 間歇性跛行 PAD 患者の治療方針. Cardio-



Vascular Contemp 2015 ; 4(1) : 99-105.

- 7) 星 俊子(埼玉慈恵病院), 墨 誠(埼玉県立循環器・呼吸器病センター). 【知っておきたい循環器疾患のCT・MRI(2)-胸部・腹部・末梢血管疾患 Case Review-】四肢末梢 深部静脈血栓症. 画像診断 2015 ; 35(9) : 1134-5.

### Ⅲ. 学会発表

- 1) 芦塚修一, 内田豪気, 平松友雅, 大橋伸介, 田中圭一朗, 黒部 仁, 桑島成央, 吉澤穰治, 大木隆生. (一般演題 257 : 小児 その他 1) 出生直後に緊急手術を必要としたCCAM(先天性囊胞性腺腫様奇形)症例の検討. 第115回日本外科学会定期学術集会. 名古屋, 4月.
- 2) 西田ひかる, 平松友雅, 内田豪気, 大橋伸介, 桑島成央, 芦塚修一, 吉澤穰治, 大木隆生. (研修医・医学生ポスターセッション: 小児) 小児における単孔式経臍腹腔鏡補助下手術. 第115回日本外科学会定期学術集会. 名古屋, 4月.
- 3) 芦塚修一, 内田豪気, 平松友雅, 桑島成央, 吉澤穰治, 大木隆生. (一般口演) Nuss手術による治療終了後の再陥凹により再手術を施行した症例の検討. 第52回日本小児外科学会学術集会. 神戸, 5月.
- 4) 金森大輔<sup>1)</sup>, 芦塚修一, 内田豪気, 馬場優治, 織田豊<sup>1)</sup> (賛育会病院). (ポスターセッション) 小児腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術および停留精巣に対する若手医師の育成. 第52回日本小児外科学会学術集会. 神戸, 5月.
- 5) 大橋伸介, 芦塚修一, 黄 義浩, 黒部 仁, 平松友雅, 桑島成央, 田中圭一朗, 馬場優治, 内田豪気, 金森大輔, 梶沙友里, 吉澤穰治, 大木隆生. (ポスターセッション) 胸骨正中切開で切除した縦隔巨大リンパ管腫の1例. 第52回日本小児外科学会学術集会. 神戸, 5月.
- 6) 原田 篤<sup>1)</sup>, 黒部 仁<sup>1)</sup>, 大塚正彦<sup>1)</sup> (川口市立医療センター). (ポスターセッション) 磁気治療器誤飲により腸閉塞を来した1例. 第52回日本小児外科学会学術集会. 神戸, 5月.
- 7) 内田豪気, 平松友雅, 桑島成央, 芦塚修一, 吉澤穰治, 大木隆生, 田中圭一朗, 黒部 仁<sup>1)</sup>, 原田 篤<sup>1)</sup> (川口市立医療センター), 梶沙友里 (町田市民病院), 金森大輔 (賛育会病院), 大橋伸介, 杉原哲郎, 馬場優治 (東京都立小児医療センター). (ポスターセッション) FibroScan<sup>®</sup>を用いた胆道閉鎖症術後患児と健常児の肝線維化の比較. 第52回日本小児外科学会学術集会. 神戸, 5月.
- 8) 平松友雅, 芦塚修一, 山田真里江, 杉原哲郎, 内田豪気, 桑島成央, 吉澤穰治, 大木隆生. (ポスターセッション) 超低出生体重児に対するNICU内での手術に関する検討. 第52回日本小児外科学会学術集会. 神戸, 5月.
- 9) 谷島 和, 芦塚修一, 内田豪気, 平松友雅, 桑島成央, 吉澤穰治, 大木隆生. (ポスターセッション) Nuss法バー留置期間中に合併した自然気胸の検討. 第52回日本小児外科学会学術集会. 神戸, 5月.
- 10) 田中圭一朗, 吉澤穰治, 秋葉直志. (ポスターセッション) OK-432 (ピシバニール) による硬化療法が著効した正中頸嚢胞の3例. 第52回日本小児外科学会学術集会. 神戸, 5月.
- 11) 大木隆生. (Debate “JET2015 八番勝負”) EVTは循環器内科医の仕事である. JET2015 (Japan Endovascular Treatment Conference). 大阪, 2015年2月.
- 12) 大木隆生. (私のインターベンション道) 大木隆生の道～末梢血管治療や動脈瘤治療をする循環器内科医に言いたいこと. JET2015 (Japan Endovascular Treatment Conference). 大阪, 2015年2月.
- 13) 前田剛志, 金岡祐司, 大木隆生. EVT時代におけるバイパス術の治療成績とその役割. JET2015 (Japan Endovascular Treatment Conference). 大阪, 2015年2月.
- 14) 荻野秀光 (湘南鎌倉総合病院), 金岡祐司. (血管外科ライブ) Video Live : 大動脈瘤血管内治療の術中合併症と対策 (Bail out). JET2015 (Japan Endovascular Treatment Conference). 大阪, 2015年2月.
- 15) 石田 厚, 手塚雅博, 馬場 健, 瀧澤玲央, 百川文健, 萩原 慎, 原 正幸, 前田剛志, 立原啓正, 金岡祐司, 大木隆生. 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の現状と近未来. 日本医工学治療学会第31回学術大会. 広島. 2015年3月.
- 16) 大木隆生, 東 信良 (旭川医科大), 駒井宏好 (関西医科大), 石田 厚, 重松邦広 (東京大), 尾原秀明 (慶應義塾大), 工藤敏文 (東京医科歯科大), 田中克典 (防衛医科大), 鬼塚誠二 (久留米大), 宮田哲郎 (国際医療福祉大). (シンポジウム 19 : 間欠性跛行に対する診断と治療) 間欠性跛行患者に対する侵襲的治療後に発生した重篤合併症 : 日本血管外科学会「患者本位ではないPAD治療の全国実態調査」のサブ解析. 第115回日本外科学会定期学術集会. 名古屋, 4月.
- 17) 金岡祐司, 小澤博嗣, 大森慎子, 手塚雅博, 瀧澤玲央, 馬場 健, 福島宗一郎, 百川文健, 萩原 慎, 宿澤孝太, 原 正幸, 金子健二郎, 前田剛志, 太田裕貴, 墨 誠, 黒澤弘二, 立原啓正, 戸谷直樹, 佐久田斉, 石田 厚, 大木隆生. (シンポジウム 4 : B型大動脈解離に対する治療戦略-遠隔成績と問題点-(Video)) 慢性解離性大動脈瘤に対する血管内治療の治療戦略と初期・中期成績. 第115回日本外科学会定期学術集会. 名古屋, 4月.
- 18) 佐久田斉. (一般演題 13 : 末梢血管 1) 大伏在静脈

弁不全に対する血管内レーザー焼灼術：大伏在静脈起始部における遺残分枝に関する前向き研究. 第115回日本外科学会定期学術集会. 名古屋, 4月.

- 19) 前田剛志, 金岡祐司, 小澤博嗣, 大森慎子, 手塚雅博, 馬場 健, 百川文健, 福島宗一郎, 瀧澤玲央, 萩原 慎, 宿澤孝太, 原 正幸, 金子健二郎, 太田裕貴, 墨 誠, 黒澤弘二, 立原啓正, 戸谷直樹, 佐久田斉, 石田 厚, 大木隆生. (パネルディスカッション 22: Pararenal AAA に対する治療戦略-EVAR vs. Open-(Video)) 当科における傍腎動脈腹部大動脈瘤に対する治療成績. 第115回日本外科学会定期学術集会. 名古屋, 4月.
- 20) 原 正幸, 小澤博嗣, 大森慎子, 手塚雅博, 馬場 健, 百川文健, 福島宗一郎, 瀧澤玲央, 萩原 慎, 宿澤孝太, 金子健二郎, 前田剛志, 太田裕貴, 墨 誠, 黒澤弘二, 立原啓正, 戸谷直樹, 佐久田斉, 石田 厚, 金岡祐司, 大木隆生. (一般演題 235: 大血管 ステンントグラフト1) TEVAR時のアクセストラブルの検討. 第115回日本外科学会定期学術集会. 名古屋, 4月.

#### IV. 著 書

- 1) 吉澤穰治. Ⅲ. 疾患紹介 5. 腹部腫瘍の初発症状. 東京都小児がん診療連携協議会編. 小児がん診断ハンドブック. 改訂第2版. 東京: 東京都小児がん診療連携協議会編, 2016. p.24-5.
- 2) 大木隆生. Ⅱ部 Chapter1. アメリカのアカデミアを勝ち抜く  $10+\alpha$  の方法-海外留学のススメ (1)-. 日米医学医療交流財団編. 心臓外科診療にみる医学留学へのパスポート: シリーズ日米医学交流 No.15. 東京: はる書房, p.249-60.
- 3) 大木隆生. 医療再生: 日本とアメリカの現場から. 集英社. 2016.
- 4) 金岡祐司, 石田 厚, 大木隆生. 第I章: 腹部大動脈近位部の要因 B. Short neck (ショートネック) 1. Snorkel EVAR. 宮本伸二<sup>1)</sup>, 本郷哲央<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>大分大) 編. イラストでわかる実施困難症例の大動脈ステントグラフト. 東京: 南江堂, 2015. p.28-38
- 5) 金岡祐司, 石田厚, 大木隆生. 第II章: 腹部大動脈遠位部の要因 B. Tortuous iliac artery 1. INCRAFT AAA Stent-Graft System. 宮本伸二<sup>1)</sup>, 本郷哲央<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>大分大) 編. イラストでわかる実施困難症例の大動脈ステントグラフト. 東京: 南江堂, 2015. p.78-83.

#### V. その他

- 1) 宿澤孝太, 戸谷直樹, 百川文健, 福島宗一郎, 秋葉直志, 大木隆生. 破裂性胸部大動脈瘤に対して chimney technique を用いた胸部ステントグラフト内挿術と二次的コイル塞栓術で救命し得た1例. 日心臓血管外会誌; 2015; 44(4): 228-31.

2) 伊藤栄作, 中林幸夫, 馬場優治, 伊藤恵理子, 原圭吾, 野秋朗多, 黒部 仁, 栗原和直, 大塚正彦. 小腸間膜裂孔ヘルニア陥頓による絞扼性イレウスの1例. 埼玉医会誌 2015; 49(2): 414-8.

3) 伊藤栄作<sup>1)</sup>, 大平寛典<sup>1)</sup>, 吉田 昌<sup>1)</sup>, 柳澤 暁<sup>1)</sup>, 山内栄五郎<sup>1)</sup>, 鈴木 裕<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>国際医療福祉大). 磁石誤飲と磁石肛門内挿入による小腸直腸瘻の1例. 日臨外会誌 2015; 76(2): 332-7.

4) 伊藤栄作<sup>1)</sup>, 大平寛典<sup>1)</sup>, 斉藤庸博<sup>1)</sup>, 柳 舜仁<sup>1)</sup>, 鈴木範彦<sup>1)</sup>, 筒井信浩<sup>1)</sup>, 吉田 昌<sup>1)</sup>, 柳澤 暁<sup>1)</sup>, 山内栄五郎<sup>1)</sup>, 鈴木 裕<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>国際医療福祉大). 下部食道・噴門狭窄に対する経皮経食道胃管留置術 (PTEG). Prog Dig Endosc 2015; 86(1): 108-12.

5) 伊藤栄作<sup>1)</sup>, 大平寛典<sup>1)</sup>, 斉藤庸博<sup>1)</sup>, 柳 舜仁<sup>1)</sup>, 鈴木範彦<sup>1)</sup>, 筒井信浩<sup>1)</sup>, 吉田 昌<sup>1)</sup>, 柳澤 暁<sup>1)</sup>, 鈴木 裕<sup>1)</sup> (<sup>1</sup>国際医療福祉大). 結腸人工肛門経路の創吻合により小腸脱出をきたした1例. 日本外科系連会誌 2015; 40(5): 880-4.